

令和元年度

定期監査結果報告書

高砂市監査委員

第1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

第2 監査の期日及び監査の対象

期 日	監 査 の 対 象
令和2年1月31日	こども未来部 [未来戦略推進室] [子育て支援室] 子育て支援課、幼児保育課
	福祉部 [地域福祉室] 障がい・地域福祉課、生活福祉課、高年介護課 [人権推進室]
	治水対策室 治水計画課、治水事業課
	監査委員・公平委員会事務局
令和2年2月 3日	施設：伊保こども園、中筋こども園（こども未来部）
	消防本部 総務課、予防課、消防課
	議会事務局 総務課、議事課
令和2年2月 4日	生活環境部 [環境経済室] 環境政策課、産業振興課 [広域ごみ処理施設建設推進室] [美化センター] 計画管理課、業務施設課
	まちづくり部 [土木管理室] 管理課、建設課 [まちづくり推進室] 都市政策課、建築指導課

第3 監査の範囲

令和元年度における財務に関する事務の執行等について監査を実施した。なお、こども未来部においては、所管する施設の監査も併せて行った。

第4 監査の方法

今回の監査は、主に、予算の執行、収入、支出、契約、財産管理、施設管理等の事務の執行が、適正かつ効率的に行われているか、また所管の事務の執行が合理的かつ効率的に行われているか、法令等の定めるところに従って適正に行われているかなどを主眼とし、次のとおり実施した。

監査対象となった部局室に対し監査資料（令和元年１１月３０日現在）の提出を求め、関係職員から説明を聴取し、質疑を行い、必要に応じ関係書類の検査を行った。

生活環境部の広域ごみ処理施設建設推進室及び美化センター並びに消防本部については、現地に赴き監査を実施し、現場確認も行った。

また、こども未来部の所管施設についても現地に赴き、園長等から説明を受け施設管理事項等について質疑を行い、必要に応じ関係書類の検査を行い、施設等の整備状況等の確認を行った。

第５ 監査の結果

監査対象となった部局室別の結果は以下のとおりであり、監査時に気づいた簡易な事項についてはその都度口頭で指示したところである。

監査の結果、一部において検討、改善すべき事項が見受けられたが、予算の執行、収入、支出、契約、財産管理その他の事務についてはおおむね良好に処理がされていると認められた。今後とも事務の執行に当たっては、厳しい財政下であることを十分認識し、職員一人ひとりが強いコスト意識を持って対応されたい。

なお、地方自治法第１９９条第１２項の規定により、措置を講じたときはその旨を通知されたい。

【こども未来部】

[未来戦略推進室]

未来戦略推進事業として、人口減少・少子化対策、若者世代の移住、定住の促進について確認を行った。人口減少対策については、対象者・世代を絞るマーケティングを行い、的を絞った対策が必要である。本市には、他市を凌駕する子育て支援（副食費無料、安い延長保育）や教育及び福祉などにおいても手厚い独自施策がある。これらを総合的にまとめた資料（パンフレット）を臨海部大手企業の本社人事部へ説明を行い、本社から高砂の事業所の担当者へ説明してもらい、姫路市や加古川市など近隣市から高砂市内の事業所へ勤務するこれから結婚する・新婚の若い世代、今から家を建てようとしている方に周知してもらうべきと考える。本市は本来、アピールポイントは多いはずであり、届けるべきところへ情報を届けるためにも熱意ある営業活動を実践されたい。

[子育て支援室]

（子育て支援課）

北部子育て支援センターやユーアイ福祉交流センターに移転した子育て支援センターは存続している。教育センター跡地整備事業における子育て支援センターにおいて利用者は見込めるのか疑問である。長期的な視点から真の必要性を考え、市全体の財政状況も勘案し今後の子育て支援センター全体の管理運営について検討を加えられたい。

(幼児保育課)

教育・保育給付事業、子育てのための施設等利用給付事業において確認を行った。本市独自の副食費の無償化や認可外保育園に対する幼児教育の無償化を行っており、待機児童もいないとのことである（それだけ手厚すぎる施策を行っているともいえる）。しかし、本市の財政状況を考えた場合、はたしてここまでの給付事業が必要かどうか、また、このことが未来戦略推進事業において人口減少・少子化への歯止めになっていないようにも思われるので、本市のアピールの不十分さも含め十分に検討されたい。また、アピールについては、広報広聴室や経営企画室などとも連携を図られたい。

保育所建設事業の曾根保育園・幼稚園整備工事影響事前調査業務委託について確認を行ったが、これらの事前事後調査については、調査範囲が住民要望により変更となる場合があるとのことであり、この調査業務の在り方について、補償も含め全庁的に検討されたい（請負代金に含めるべき）。

(伊保こども園)

ネットランチャー（2011 年購入）について有効期限を確認したところ 4 年間であった。適切に処理されたい。

(中筋こども園)

ネットランチャーは有効期限切れであった。他の施設（こども園、小中学校）も含めて点検をされたい。

調理室で火災が発生した場合、避難経路として 1 カ所しかなく、2 方向への避難ができない。2 階の保育室から逃げようとする、はしごをかける必要があるとのことである。消防からこのような意見があったため、避難経路について検討されたい。

【福祉部】

[地域福祉室]

(障がい・地域福祉課)

社会福祉協議会への補助金のあり方、民間事業者の育成、業務委託のあり方、委託内容について社会福祉協議会と協議はしているとのことであるが、今後も様々な面で継続して協議を続けられたい。また、高砂市遺族会補助金についても補助金のあり方について遺族会と協議は続けられたい。

(生活福祉課)

おおむね適正に処理されていた。

(高年介護課)

はり・灸・マッサージ等施術助成費については毎回指摘を行っているところであ

る。1回1,000円を12回まで補助をしているが、他市とくらべても厚遇すぎる補助である。高齢者の健康の保持増進については他のやり方も検討され、廃止も含めて考えていただきたい。

[人権推進室]

おおむね適正に処理されていた。

【生活環境部】

[環境経済室]

(環境政策課)

おおむね適正に処理されていた。

(産業振興課)

産業振興に関する助成については、重点を絞って目指すべき成果を明確にして実施しないと事業は増加するばかりであり、本当に実施したい事業に投入できるマンパワーが分散してしまう結果となる。将来にわたって効果があるのかを検討して、事業の整理・統合が必要と考える。

[広域ごみ処理施設建設推進室]

おおむね適正に処理されていた。

[美化センター]

(計画管理課)

おおむね適正に処理されていた。

(業務施設課)

おおむね適正に処理されていた。

【まちづくり部】

(全般)

橋りょう・道路等インフラの老朽化に対応した長寿命化対策が必要であるが、財政に及ぼす影響は多大である。また、施設の総合管理計画の中で一部の施設は、廃止ではなく施設の複合化・多機能化という考え方でも検討されている。一方で教育センター跡地利用等でも施設は増加する一方である。高砂市の財政を考えると施設の複合化・多機能化ではなく、もっと単純に「統廃合」を考えてはどうか。本市はもともとコンパクトシティであり、他市よりも施設の統廃合は容易であろうと考えられる。

[土木管理室]

(管理課)

中筋住宅建設事業の市営中筋住宅建設工事に伴い発生した補償について確認を行った。事前調査は平成 28 年度、事後調査は平成 30 年度に実施している。事前、事後調査は必要な範囲を明確にして請負代金に含めるべきと考える。事後調査の結果としての補償については、工事の状況等を勘案して業者と市が負担割合を協議してはどうか。事前事後調査を含めた補償の考え方については全庁的な検討が必要である。また、補償のありかたについては顧問弁護士とも相談されたい。

(建設課)

おおむね適正に処理されていた。

[まちづくり推進室]

(都市政策課)

おおむね適正に処理されていた。

(建築指導課)

おおむね適正に処理されていた。

【治水対策室】

(治水計画課)

おおむね適正に処理されていた。

(治水事業課)

おおむね適正に処理されていた。

【消防本部】

(総務課)

おおむね適正に処理されていた。

(予防課)

おおむね適正に処理されていた。

(消防課)

おおむね適正に処理されていた。

【議会事務局】

(総務課)

おおむね適正に処理されていた。

(議事課)

おおむね適正に処理されていた。

【監査委員・公平委員会事務局】

おおむね適正に処理されていた。

【共通事項】

時間外勤務については、特定の職員にかたよった時間数になっている部署が見受けられた。超過勤務の原因となっている業務の見直し等により、超過勤務時間の縮減及び平準化を図るとともに、一時的に集中する業務については、課内・部内で調整を行い、組織的対応を図られたい。時間外勤務の縮減に関する指針及び長時間勤務による健康障害防止対策実施要綱が定められているが副市長依命通知を再度確認し、この指針、要綱の遵守を徹底されたい。

滞納整理については、全庁的に財務部債権管理室と連携が図られ、滞納処分等を積極的に行い徴収率の向上に努められている。今後も引き続き歳入の確保に取り組まれたい。

現在も厳しい財政状況にあることを認識し、職員一人ひとりが、効率的な歳入の確保及び経費全般の合理化に取り組まれたい。

【その他】

こども未来部において定期監査資料の提出が大幅に遅れ、また、監査直前の訂正も多く発生したことから監査が困難な状況であった。資料作成の準備を早められ、チェック体制も十分確立されたい。